

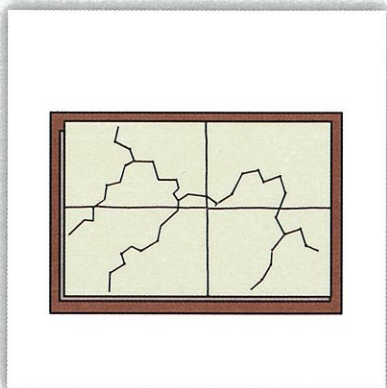
# 「伊能図」の作り方 ②地図製作

## 下図



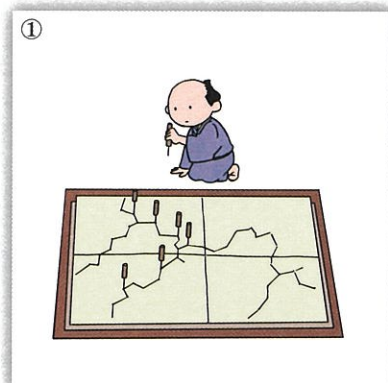
野帳に書き留めたその日の測量記録を宿に戻ってから編集・図化したもの。概ね1日1枚ずつ作られた。

## 寄図

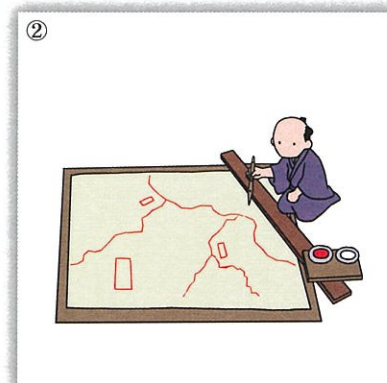


測量の旅を終え江戸に戻った後、下図を畳1枚ほどの大きさにつなぎ合わせ、寄図を作る。

## 複製



寄図の下に白紙を数枚重ね、測点に針穴を開けて、白紙に測点を写す。



写された測点に沿って測線を引き、寄図の複製を作る。同時に国名・郡名などの枠を予め描いておく。

## 描画



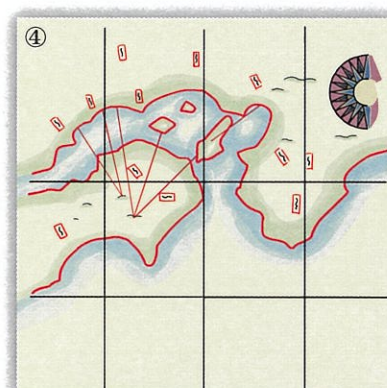
測量先で書き留めた鹿絵図を参考にして山・川・海などの風景を描き入れる。



国名・郡名・地名などを書き、地図合印を押印する。



計測した山や島などの方位角をもとに交会線を引く。  
※交会線は縮尺や種類によって引かれていないものもある。



コンパスローズを描き、経緯線を引く。  
※経緯線は縮尺や種類によって引かれていないものもある。



忠敬は地図製作の途中で亡くなったため、弟子たちが完成させ、孫の忠誨によって幕府に上呈された。